②第１分科会

新規導入　起業教育ワークショップ
「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」の活用

大阪商業大学　経済学部　准教授
柴田　孝

起業教育研究会の第１分科会は、「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」への取り組みを検討いただいている先生方を対象に開催しております。ビジネスアイディア甲子園に応募するにあたって、アイディアを考えて応募用紙に表現していただくのですが、アイディアをどう考え出すかが大きな課題となると思います。そこで、『高校生のための起業教育ワークブック』で紹介しているブレインストーミングとKJ法を紹介しました。

アイディアを考えていただくテーマを「お年寄りの方のニーズを考える」として、１つめのワークでは「不便・不満・不足・不十分」という点からお年寄りの方のニーズを考えて付箋に書き出し、グループメンバーで共有しながら、５つのルール（①とにかくたくさんのアイディアを出す。質より量。②アイディアの批判をしない。「それは良くない」などと考えない。③どのような思いつきでもかまわない。④アイディア同士を組み合わせ、発展、飛躍させる。⑤出されたアイディアの改善策や組み合わせなども歓迎する。）のもとで考え出すことに取り組みました。続いて取り組んだ２つめのワークが、様々な意見をまとめてアイディアを生み出す方法であるKJ法です。でてきたアイディアをキーワード化し、それをグループ化かつグループ間の関連付けをおこなって、最後に文章化するというものです。２つのグループそれぞれが導いた結果を発表し共有することで別の視点を獲得することができました。

全国高等学校ビジネスアイディア甲子園では応募においてチームでの応募が可能です。アイディアの最初はメンバーの一人が気づいたものであったとして、それを個人で完成度を高めて応募することもできますが、グループで話し合い内容を濃くしていくこともできます。これは協働の理解やチームワークの涵養につながるものと考えています。

引用文献

起業教育研究会編（2005）『高校生のための起業教育ワークブック』pp.92-94

第23回起業教育研究会
2019年8月7日

起業教育ワークショップ「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」の活用

大阪商業大学 経済学部 経済学科
准教授　柴田　孝

アイディアの種をどう見つけるか

4つの「不」からニーズを探そう

- 4つの不（FU）
  - 不満・不足・不十分・不便
  - Fu-満・Fu-足・Fu-十分・Fu-便 ⇒ 4F
- 4Fの観点から探してみよう！
  ワーク①お年寄りの4Fを考える

ワーク①：お年寄りの4Fを考える
ブレーンストーミングでアイディアを生み出す

- お年寄りはどんなことで困っているでしょうか
- お年寄りはどんなことができたら助かるでしょうか
- お年寄りが普段していることは何でしょうか

- お年寄りの4Fを考えて、発表してください。
- 出てきた意見を短く付箋に書きましょう。
- たくさん書いて、島の中央に見えるようにどんどんおいてください。
- 他の方の意見に着想を得て思いついたことをどんどん発表しましょう。

ブレーンストーミングのルール

- とにかくたくさんのアイディアを出す。質より量。
- アイディアの批判をしない。「それは良くない」などと考えない。
- どのような思いつきでもかまわない。
- アイディア同士を組み合わせ、発展、飛躍させる。
- 出されたアイディアの改善策や組み合わせなども歓迎する。

ワーク①：お年寄りの4Fを考える
ブレーンストーミングでアイディアを生み出す

- お年寄りの4Fを考えて、発表してください。
- 出てきた意見を短く付箋に書きましょう。
- たくさん書いて、島の中央に見えるようにどんどんおいてください。
- 他の方の意見に着想を得て思いついたことをどんどん発表しましょう。

ブレーンストーミングのルール
- とにかくたくさんのアイディアを出す。質より量。
- アイディアの批判をしない。「それは良くない」などと考えない。
- どのような思いつきでもかまわない。
- アイディア同士を組み合わせ、発展、飛躍させる。
- 出されたアイディアの改善策や組み合わせなども歓迎する。

アイディアを整理しよう（KJ法）

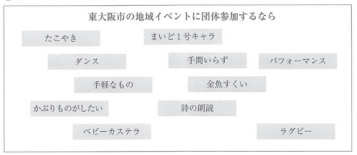
ワーク②：KJ法でアイディアをまとめよう

- KJ法・・・様々な意見をまとめてアイディアを生み出す方法

- やり方
  - アイディアを1行見出し（キーワード、短文）にした付箋を作成
  - たくさんの付箋を分類しグループをつくる
  - グループ間の関連付けを行う
  - 出てきた結果を文章化する。

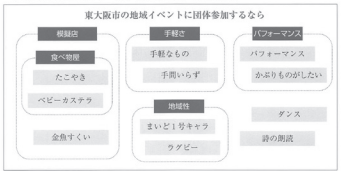
KJ法の進め方①
引用元：大阪商業大学起業教育研究会編『高校生のための起業教育ワークブック』p.93

①ブレーンストーミングを用いて出し合ったアイディアをカードに記入する。



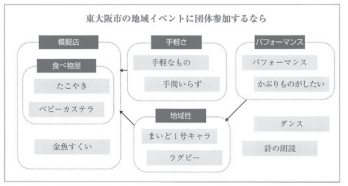
KJ法の進め方②
引用元：大阪商業大学起業教育研究会編『高校生のための起業教育ワークブック』p.93

②関連するカードをグループにまとめ、タイトルをつける。→大グループへ。
　どうしてもまとまらないカードは一枚でも1グループとみなす。



KJ法の進め方③
引用元：大阪商業大学起業教育研究会編『高校生のための起業教育ワークブック』p.94

③このグループを関連づけ、アイディアにまとめ文章化していく。



KJ法の進め方④
引用元：大阪商業大学起業教育研究会編『高校生のための起業教育ワークブック』p.94

④コンセプトへとつながる文章を作りあげる。

子どもや学生が買ってくれるような、ベビーカステラの模擬店を出店する。
ラグビー関連の雑誌はすでに製品化され販売されているので、「まいど1号」にちなんだネーミング、例えば「夢乗せて舞い上がれ」という意味を込めたネーミングを考案し、袋や包装紙もデザインする。受験お守りグッズを袋の中に入れても良いかもしれない。
販促の方法として、人工衛星やUFO、宇宙人のかぶりものを作成、会場内でパフォーマンスをして、子どもたちの関心を引きつける。

ワーク②：KJ法でアイディアをまとめよう

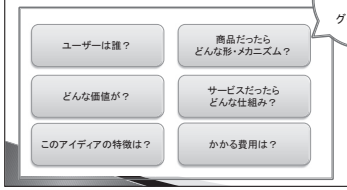
- やり方
  - アイディアを1行見出し（キーワード、短文）にした付箋を作成
  - たくさんの付箋を分類しグループをつくる
  - グループ間の関連付けを行う
  - 出てきた結果を文章化する。



応募に向けて

- アイディアの種ができたらそれを形にします。
- 詰めていくポイントがいろいろあります。

類似品はありませんか？ ググろう！



全国高等学校ビジネスアイディア甲子園 応募への参考資料

参考資料：『高校生のための起業教育ワークブック』

- 第1編（導入編）起業家精神を育てる
  - 第1章　経済社会の変化と起業家精神
  - 第2章　起業家精神と自己分析
  - 第3章　新しい商品・サービスの開発と起業家精神
- 第2編（基本編）・・・商品企画に挑戦！
  - 第4章　商品企画のステップ
  - 第5章　日常生活における消費者ニーズを探る
  - 第6章　消費者ニーズを充足するアイディア創出・企画書づくり
  - 第7章　商品企画を伝え、企画を検証する
- 第3編（応用編）・・・新しい課題に挑戦！
  - 第8章　アイディアコンテストに挑戦！
  - 第9章　地域の問題解決に挑戦！

第4編　技術編
商品企画に関する技術
情報収集
アイディア発見・整理
ネーミングや広告
インタビュー

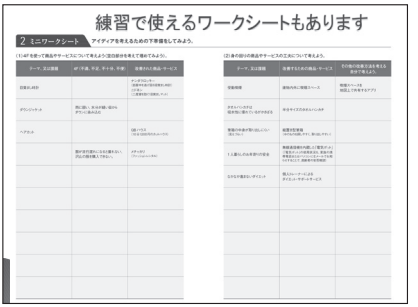
配布は終了しましたが、ワークシートはダウンロードできます！

指導者用「活用ガイド」

- 大学HPに掲載していますので、ダウンロードして印刷して利用いただけます



練習で使えるワークシートもあります



入賞作品の解説もあります



ありがとうございました

- 大阪商業大学のホームページでは起業教育に関する情報発信を行っています。
  - 起業教育ホームページ
    https://ouc.daishodai.ac.jp/general/est_training/
  - 全国高等学校ビジネスアイディア甲子園
  - 起業教育研究会